

元気な川崎！いきいき川崎区！

市政だより

2019  
秋号

川崎市議会議員

林としお

2019年11月吉日

## 令和元年第4回 市議会定例会を終えて

「令和元年第4回川崎市議会定例会」が9月2日から開催され10月11日に閉会となりました。

みらい川崎市議会議員団では、代表質問を9月12日に行い、「犯罪被害者等の支援について」や「平成30年度決算について」などをはじめ、市政一般や提出された議案について質問を行いました。

また、今定例会に提出された「平成30年度川崎市一般会計歳入歳出決算認定」や「令和元年度川崎市一般会計補正予算」など計46件の議案については、審議の結果、全議案とも原案通り可決・決定し、「高齢者の安全運転と移動手段の確保を求める意見書」についても可決・決定しました。

今回の市政だよりでは、市民の皆様からのご意見や、安心して安全に暮らせる街づくりを進める観点から行った、会派代表質問のトピックスや、決算審査特別委員会（平成30年度決算）のまちづくり分科会にて質問をした概要を報告させていただきます。

### 〈会派代表質問 トピックス〉

#### ■ 避難所となる学校体育館の冷暖房の設置について

**質問** 8月下旬に行われた文教委員会で、学校施設における冷暖房設置の考え方について議論された際に教育委員会からは「現在の学校施設長期保全計画が策定された段階では、今般の異常な猛暑は想定されておらず、今後の課題として認識している」との答弁がありました。大変重要な認識であると同時に、財源の議論が必要となります。

今年度契約された「川崎市立学校における空調設備の整備及び更新検討支援業務委託」においては、どのような検討がなされ、今後、体育館への空調設備の整備に向けて取組むのか、また、いつまでに考え方や方向性を示すのか、教育長にうかがいます。

**回答**（教育長）熱中症対策につきましては、各学校において、ご家族の協力も得ながら、十分な対策に努めていますが、近年の酷暑を踏まえ、さらなる取組も必要であると考えています。

こうしたことから、今年度、検討支援業務委託等において、体育館も含めた学校施設全体を対象に、空調設備設置に係る課題整理を行い、来年度以降、基本的な考え方を整理していきたいと考えています。

#### ■ 二次避難所開設訓練について

**質問** 9月8日に開催された川崎市総合防災訓練で、二次避難所の開設訓練として、社会福祉法人の施設を活用した訓練が行われました。訓練では行政と福祉関係がどのように連携されたのかうかがいます。今後の二次避難所開設における考え方についてもうかがいます。

次に、本市では災害時の業務継続計画が策定されていますが、屋外の訓練だけでなく各局区内の連携体制の構築など、組織内における初動の対応等は、どのように訓練されているのかうかがいます。

**回答**（健康福祉局長）今回の訓練は、実際の発災時を想定したより実践的な訓練となるよう、被害状況想定を事前には明かさないうらみ方式により、施設が二次避難所として避難者を受け入れる前段階での、当該施設入所者の安否確認や施設の被災状況及び職員の見守り状況調査等の初動対応訓練を行い、その後、行政が、避難所、施設と連絡を取り合いながら、二次避難所としての受入要請を行い、施設において模擬避難者の受入れを行ったものであります。

訓練の結果、発災時の初動対応にあたっては、施設の業務を適切に維持・継続をした上で、避難者を受け入れることの必要性等が確認されたことから、施設における業務継続計画の策定の支援など、二次避難所の開設に向けたより効果的な手法について検討し、各社会福祉法人等との共有を進めていきたいと考えています。

# 〈決算審査特別委員会 まちづくり分科会〉

## ■ 台風第24号被害の復旧にかかわる事業費について

**質問** 昨年10月の台風第24号では、公園緑地や街路樹等にも大きな被害が発生しました。台風被害に関わる決算状況について、予算流用や予備費活用等の詳細をそれぞれうかがいます。

**回答** 台風第24号の被害復旧による平成30年度の支出済額については、約2億7,054万円でありまして、その内訳については、補正予算での対応が2,175万円、予備費での対応が約9,705万円、交付金の認承減等により留保されていた予算等の流用による対応が約1億4,209万円、当初予算での対応が約7,684万円となっています。

**質問** 今月発生した台風第15号においても、街路樹の倒木やトタン屋根の破損など、大変な被害が発生しています。現時点の確認されている被害状況の詳細についてうかがいます。

**回答** 公園緑地の樹木被害については、現時点で把握しているもので、倒木や枝折れなどが約1,500本ありまして、主に施設被害については、生田緑地において倒木によるパーゴラの倒壊などがありました。また、街路樹の被害については、倒木や枝折れなどが約470本ありました。



**質問** 昨年の台風第24号における街路樹の倒木被害などを踏まえて、街路樹の管理面での対応策について取り組んだ内容についてうかがいます。また、今回の台風被害を受けての、今後の街路樹の点検等の取組についてうかがいます。

**回答** 街路樹管理での対応や点検については、台風などによる被害をできる限り少なくするため、樹木の状況を確認するためのパトロールや、専門家による健全度診断を行ってきたところであります。今後におきましては、引き続き、台風の発生状況を注視しながら、樹木の健全性の確認などを行い、事前の対策による被害軽減に努めていきたいと考えています。

**要望** 今回の台風第15号では、昨年の24号に続き、公園緑地内の大木が根っこごと倒れるなど、暴風による樹木の倒木被害が市内全域で発生しています。

今後の街路樹の管理のあり方について、倒木したら住宅などに被害を及ぼすことが想定される樹木は伐採していくなどの対応も議論していくべきと考えます。自然災害に対応する街路樹管理についてしっかりと検討していただくこと強く要望しておきます。

## ■ 公園施設長寿命化事業について

**質問** 公園施設長寿命化計画については、3年が経過していますが、国からの補助金に連動した事業になっているため、国の交付金の認承減により、3年間だけでも224公園672基の計画に対して、135公園401基の実績となっており、計画の60%しか遊具の更新が図られていない状況にあります。長寿命化計画策定時の施設の劣化判定調査では、1,996基の補修更新が必要とされています。国からの交付金の認承減を影響させない、実効性のある取り組みが必要と考えます。計画の早急な見直しなど今後の対応についてまちづくり局長に見解を伺います。

**回答** 公園施設については、「川崎市公園施設長寿命化計画」に基づき、平成28年度より計画的に更新等を推進してきたところであります。今後につきましても、引き続き、国へ適切な財政措置を要請するとともに、令和3年には、事業の進捗状況を踏まえた計画の見直しを予定しておりますので、計画期間や公園の安全確保と機能保全に向けた手法なども含め、検討してまいります。

**要望** 先ほど指摘をさせていただきましたが、国の交付金の認承減に伴い計画が大幅に遅れています。30年度は、1億円の交付金を予定し2億1千万円の予算を組みましたが、結果交付金は1,535万円となっており、今年度についても5,600万円となっています。計画を達成できないのはあきらかです。今後の財源確保に向けて、関係局と連携を図りながら、国への要請なども含め取り組みの強化を要望しておきます。

## 林 事務所のご案内

連絡先：〒210-0835 川崎区追分町6-2 エステート森101  
TEL. 044-223-6625 / FAX. 044-223-6635

電話連絡は平日の火・木・金の11時～17時30分。  
留守の際は、留守番電話にご伝言をお願いします。

### プロフィール

- 1964年 1月28日生まれ
- 1982年 旧日本鋼管(NKK)京浜製鉄所入社
- 2014年 JFEスチール東日本製鉄所(京浜地区)総務部
- 2015年 川崎市議会議員初当選
- 2019年 川崎市議会議員2期目当選
- 2018年度 ●健康福祉委員会副委員長
- 2019年度 ●まちづくり委員会 ●大都市税財政制度調査特別委員会

